

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	以下の教科書に基づいたレジュメを配布する。「JABEE対応 技術者倫理」小出泰士著(丸善株式会社)
補助教材等	
学習上の留意点	
<p>技術者の責任についての基礎知識を理解し、状況に応じて、技術者として、倫理的に正しい行動ができるための基礎的な手法を修得する。そのために過去の事例について学修する。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>技術者倫理は答えの無い学問であり、各自が、答えを見つけ出す必要がある。技術者倫理が問題となる過去の事例を学ぶとともに、よりよい解を見つけ出すための思考方法を身につけてほしい。</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	技術者倫理の要求される背景	今、なぜ技術者倫理がとわれているのかを考えさせる(吉田)。	講義の復習を行う。水俣病について予習を行う。
2	事例研究1	水俣病事件の背景と技術者の対応を考える(吉田)。	講義の復習を行う。地球環境問題について予習を行う。
3	地球環境問題	地球環境問題への国際的取り組みについて説明する。(吉田)	地球環境問題に関するレポートを作成する。
4	生命倫理	生命倫理について説明する(吉田)	講義の復習を行う。
5	事例研究2	三菱自動車クレーム隠し事件について考える。(吉田)	講義の復習を行う。
6	安全衛生	安全衛生の基本的な考え方を説明する。(吉田)	講義の復習を行う。
7	技術者の社会的責任1	技術者の社会的責任について説明する。	技術者の社会的責任についてレポートを作成する。
8	技術者の社会的責任2	技術者の社会的責任について説明する。	技術者の社会的責任についてレポートを作成する。
9	説明責任	技術者が負う説明責任とは何か理解する。	題目にある用語と関連語の意味を調べておく。
10	製造物責任	技術者が負う製造物責任とは何か理解する。	配布資料にある実際の事例に基づき、各種技術者が負う責任について独自の見解
11	ヒューマンエラー	ヒューマンエラーについて起こる状況と対策について理解し提案することができる。	題目にある用語と関連語の意味を調べておく。資料に基づき、指定の状況で何が問題となるのかを考え対策を立案する。併せて、自分の研究テーマとの関連性について述べる。
12	内部告発	内部告発とは何かを理解し課題を検討することができる。	題目にある用語と関連語の意味を調べておく。資料に基づき、指定の状況で何が問題となるのかを考え対策を立案する。併せて、自分の研究テーマとの関連性について述べる。
13	知的財産権	知的財産の管理について理解し、実際の事例に対して考察することができる。	題目にある用語と関連語の意味を調べておく。資料に基づき、指定の状況で何が問題となるのかを考え対策を立案する。併せて、自分の研究テーマとの関連性について述べる。
14	予防原則	予防原則とは何か理解することができる。	題目にある用語と関連語の意味を調べておく。資料に基づき、指定の状況で何が問題となるのかを考え対策を立案する。併せて、自分の研究テーマとの関連性について述べる。
15	まとめ	試験の解説を通じ間違いを修正すると共に、特に論述に関する理解を深めることができる。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			30 時間
自学自習			60 時間